

2025 年 11 月 25 日

公益財団法人日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団

グローバル・インフラに関する調査研究を体験

5 回目となる夏期インターンシッププログラムを開催

～全国から集まった学生がチームによる調査研究、学術論文作成、発表を実施～



夏期インターンシッププログラム対面ミーティングの様子

公益財団法人日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団（所在地：東京都港区、理事長：中山幹康、略称：日本 GIF）は、2025 年 8 月から 10 月にかけて、全国の大学の学部生を対象に、調査研究体験を通じてグローバル・インフラへの関心を喚起することを目的とした、夏期インターンシッププログラムを、都内の会場およびオンラインにて実施しました。今年度のテーマは、1960 年に出版された『21 世紀への階段』に記載された、グローバル・インフラに関する未来予測の検証としました。本プログラムは、今年で 5 回目の開催であり、調査研究を体験する他に類似のない独自性の高いプログラムです。首都圏外の学生には旅費を支給し、対面ミーティングとオンラインミーティングを組み合わせることで、多様な学生がインターンシップに参加できるよう企画しています。

夏期インターンシッププログラムは、8 月初旬、都内の会場で対面ミーティングにてスタートしました。全国から集まった 10 名のインターンを 5 名ずつ 2 チームに分け、チューターから論文の書き方についてのレクチャーを受け、チームミーティングを行いました。その後、8 月から 9 月にかけて、各チームはチューターが主導する数回のオンラインミーティングを通じ、『21 世紀への階段』からチーム毎に割り当てられた章について、予測が「実現したもの／実現しなかったもの」の事実確認に加え、予測が実現しなかった理由の考察に重点を置いて調査研究を進め、学術論文を作成しました。そして 10 月

初旬に都内会場で開催された成果発表会で、チーム毎に発表と質疑応答、有識者の講評、修了証の授与を経て、プログラムは終了しました。その後の懇親会では、インターン同士、またチューターや講評者とのディスカッション、交流を深めました。

参加したインターンに行った修了後のアンケートでは、下記のようなコメントが得られました。

●テーマについて

- ・自身では決して触れないようなテーマだったので面白かった
- ・科学技術と都市の発展を結びつけて考えることが、とても興味深かった

●チームでの調査研究について

- ・人によって発表の仕方や資料のまとめ方が異なり、今後の自分の資料作成等に生かせると思った
- ・皆で協力して役割分担しながら、調査研究、論文の執筆、最終発表まで成し遂げられて良かった

●総合的評価

- ・一緒に活動した仲間からたくさん刺激をもらったり、チューターの先生に直接指導していただいたり、論文執筆のスキルを磨いたりすることができた
- ・日本各地の異なる大学に通う学生と共同で研究を進め、議論を深められたことが大変有意義だった

日本 GIF は、今後も広く大学生に体験と交流の場を提供し、グローバル・インフラへの関心を喚起するために、夏期インターンシッププログラムを継続していきたいと考えています。夏期インターンシッププログラムは毎年4月頃に募集を開始します。日本 GIF の[ホームページ](https://gif.or.jp/)にて詳細をご確認ください。



夏期インターンシッププログラム成果発表会の様子

= この件に関するお問い合わせ先 =

公益財団法人日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団

(日本 GIF) <https://gif.or.jp/>

担当：事務局長 坂本晶子

Phone: 050-5601-8106 e-mail : info@gif.or.jp